

第7次総合計画の将来都市像
「暮らしやすく、希望あふれるまち 上越」

第3期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和7年度～令和11年度)

「まちひとしごと創生法」(平成26年11月施行)

「第3期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和7年2月策定予定)
「第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2年2月策定)
「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成27年10月策定)

①人口減少傾向の緩和

②人口減少社会でも持続可能なまちの形成

【全体目標】

若者・子育て世代にとって「選ばれるまち」
「住み続けたいまち」の実現

【将来人口の目標】

合計特殊出生率1.68以上を目指しつつ、令和22年：約15万1千人以上、令和42年：約11万4千人以上の人口を維持する。

【各政策分野の目標、取組の方向性】

しごとづくり

「安定的で魅力ある雇用を創出する」
▶地域産業の活性化
▶多様な働く場の創出

結婚・出産・子育て

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を
実現しやすい環境を整える」
▶仕事と生活が調和した社会の形成
▶結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり

まちの活性化

「時代に合った地域を形成し、地域間連携を
活発化させる」
▶多様な地域特性の磨き上げと活用
▶地域活動の担い手確保と活性化
▶地域と地域を結ぶつながりの強化
▶交流人口の拡大による自立したまちづくり

Uターンとまちの拠点性・担い手づくり

「多様な人の流れやまちを担う人を創出する」
▶若者等の定住・Uターンの促進
▶まちの総合力の強化による求心力の向上
▶まちを担う若者人材等の育成と交流

「産・官・学・金・労・民」の多様な担い手による取組
～上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会～

各政策分野の考え方に反映

【5つの強化の視点】

- ①若者への取組の強化
⇒若い世代を対象とした施策や、人材育成・確保
- ②デジタルを活用した課題解決
⇒デジタル技術の活用やデジタル化社会への対応
- ③訴求力の高い情報発信
⇒市内外への情報発信の強化と実感の向上
- ④マッチングの強化
⇒人や団体の引き合わせ、主体間での連携の促進
- ⑤人口減少社会への適応策の強化
⇒人口減少社会にあっても持続可能な社会の形成

脱炭素化の推進
外国人市民との共生

(1)上越市の人口減少の状況

・人口減少の「緩和策」のみならず、人口減少社会にあっても、まちを持続・発展させるための「適応策」の強化が必要

(2)社会経済環境の変化等

・あらゆる分野でのICTの活用や、脱炭素社会の実現に向けた取組が必要

(3)各具体的施策の進捗状況等

・「しごとづくり」、「結婚・出産・子育て」は、課題に応じた取組の強化が必要

(4)若者世代、高校生アンケート

・結婚を希望する人に対する支援として、「出会いの場づくり」が必要
・出産・子育てがしやすい実感を高めるための取組が必要
・各政策分野でのデジタル技術の活用が必要

(5)上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会における主な意見

・中小企業や農業者、地域の活動団体等の担い手、後継者の確保が必要
・企業のDX化、GX化の促進が必要
・企業情報、地域資源等の情報発信、魅力発信の強化が必要
・若者同士の自然な出会いの創出が必要
・見やすく、分かりやすい子育て情報の発信が必要
・社会全体でワーク・ライフ・バランスや子育てを考える意識啓発が必要
・若者団体がチャレンジしやすい環境づくりが必要
・まちづくりに取り組む団体同士や地域との交流、連携の推進が必要
・若者や新たな団体、人材が地域に入りやすい環境づくりが必要